

自治体オープンデータの 加速シナリオ

2020.9.29
一般社団法人オープンコーポレイツジャパン
藤井 博之



自己紹介(一般的な講演向け)

藤井 博之 (フジイ ヒロユキ)

大学卒業後システムコンサルティング会社を経て26歳で独立、平成2年7月5日(株)ウエルズ設立 代表取締役役に就任主に日本IBM(株)の協力会社として会計パッケージソフトの開発・販売や大手ERPの導入・開発に数多く携わる。

平成12年3月15日ビジネスオンライン(株)設立、代表取締役に就任。経済アナリストの大前研一氏や大手ベンチャーキャピタルからの出資を受け、会計ソフトのASP事業(日本初)「ネットde会計」を展開、平成19年、経済産業大臣賞など数々のアワードを受賞。平成20年より、「企業コードの統一化(企業ディレクトリ)」「行政情報の共用化(オープンガバメントデータ)」を国へ政策提言。平成23年、クラウド事業を(株)パイプドビッツに譲渡後は、大手企業のクラウド事業の企画、ITベンチャー企業支援、国のICT政策(クラウド、オープンデータ、企業番号等)に関わる。平成26年、企業や自治体のオープンデータを推進すべく(一社)オープンコーポレイツジャパンを設立し、常務理事に就任。企業情報のオープンデータプラットフォームの構築研究と、自治体オープンデータを推進支援している。自治体広報紙のオープンデータ支援「マイ広報紙」立ち上げ、事業化するために、平成27年5月、日本初オープンデータ専門会社(株)パブリカを設立。その他数社のITベンチャーの取締役、顧問を兼務している。

<公的な活動等>

- 一般社団法人オープンコーポレイツジャパン 常務理事
「自治体オープンデータ推進協議会(東京・大阪)」企画運営リーダー、「東京オープンデータデイ」事務局リーダー
- 非営利活動法人ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム 理事
同NPOの「マーケティング研究会」「クラウドマイグレーション研究会」各リーダー、「地方行政研究会」サブリーダー
「オープンデータ研究会」企画運営リーダー
- 総務省 ASP・SaaS普及促進協議会委員、地方公共団体ASP・SaaS活用推進委員、クラウドテストベットコンソーシアム 統計データ利活用ワーキング サブリーダー
- 一財) JIPDEC「ROBINS(統一企業コード)検討委員会」委員、他
- クラウドジャパンイニシアティブ代表
- MITベンチャーフォーラムジャパン メンター
- 著作 「会計ASPの超メリット」(2000年9月発行 あさ出版)、「サービス進化論」(共著、BELLSYSTEM24)等
- ITベンチャー等に関する講演多数(年間10回程度)



Born in Osaka 1962

自己紹介(ディープな講演向け)

●職業：シリアルアントレプレナー

●業歴：

- ・ 1987年(25歳) システムコンサル会社辞める(約10カ月)
- ・ 1988年(26歳) 独立→ソフト会社設立→多角化
= 海外ERPのローカライズ、会計ソフト開発
- ・ 1991年(29歳) 水宅配事業を分社しその後売却
- ・ 1994年(32歳) ソーラー事業を分社 (その後売却)
- ・ 1999年(37歳) クラウドベンチャー企業設立
= 会計クラウドベンチャー (その後売却)
- ・ 2005年(43歳) クラウドコンソーシアム設立 (今は休眠)
- ・ 2013年(??歳) オープンデータの社団設立
- ・ 2015年(??歳) オープンデータベンチャー企業設立
- ・ 2020年(??歳) ???

これまで叫んできたこと

「世界の会計は一つ」

「会計はすべて自動化できる」で会計クラウド事業立ち上げ
(2000年)



「SPR」 (ソーシャル・プロセス・リエンジニアリング)

※ 「社会の情報システムは統合する方向にある」 (2005年頃)



「オープンイノベーション」

「オープン」は統合化のための第一歩(2011年頃)

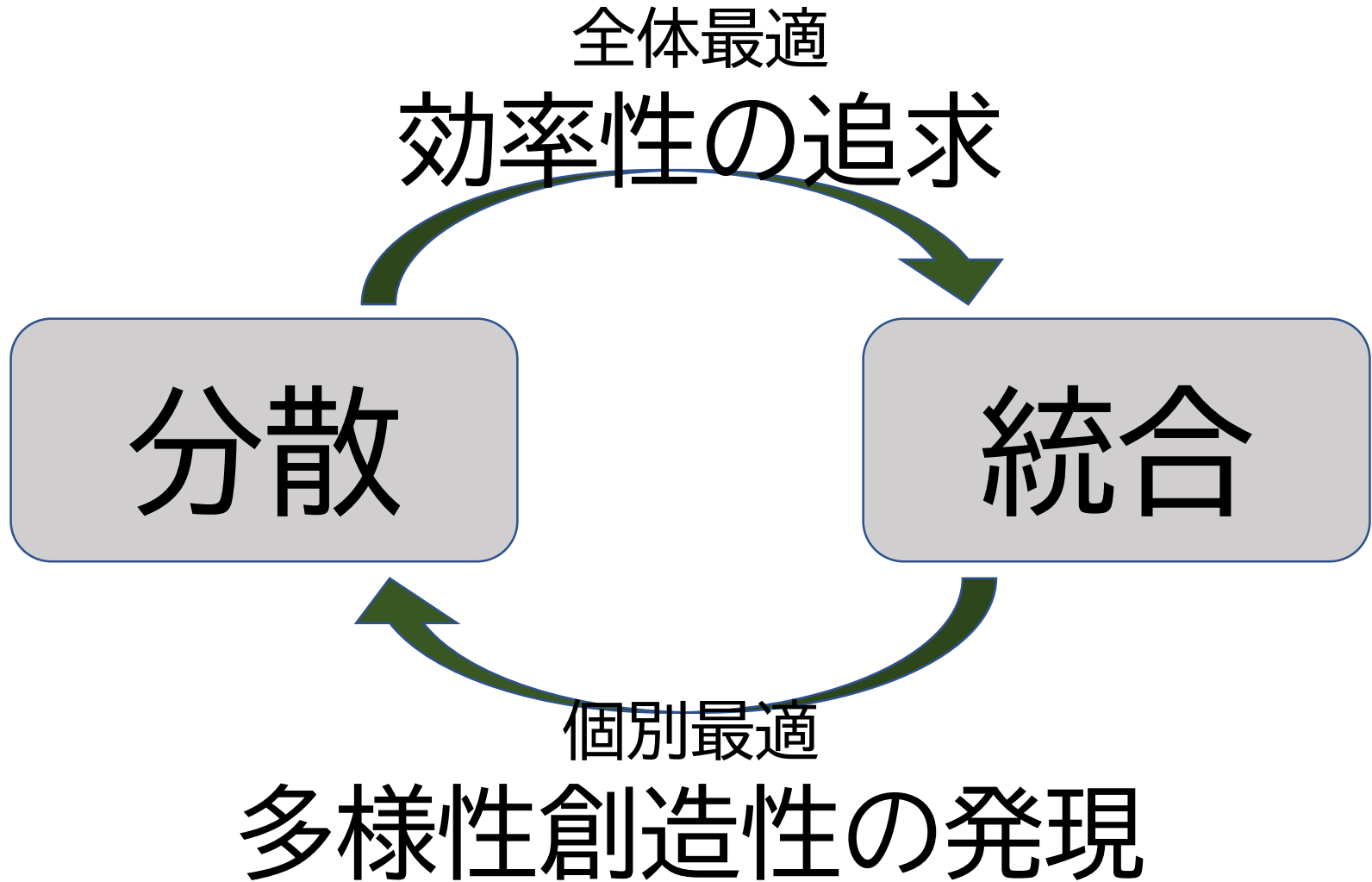


「Open Is Innovation」

「オープンであることこそがイノベーション」(2015年)

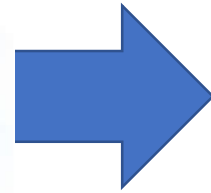


情報社会は 「分散」と「統合」の繰り返し



OPEN is Innovation

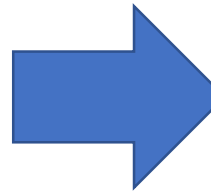
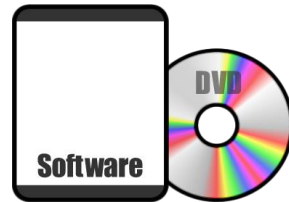
ネットワーク
(ハードウェア)



インターネット
(クラウド)



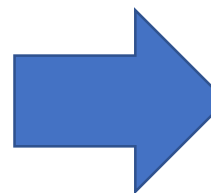
ソフトウェア



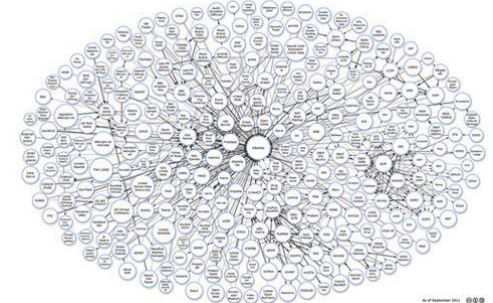
OSS



データ



オープン
データ



自治体 オープンデータの普及

やっときたか



自治体オープンデータ 盛り上がらない3大要因

「やる意味がない」

「面倒」

「やっても使われないじゃん！」

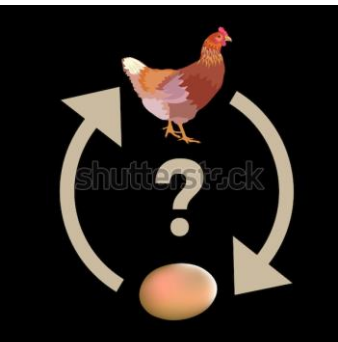


やっぱりな



自治体オープンデータの 加速シナリオの視点

- イシュードリブン
- 活用サービスの普及
 - データ整備

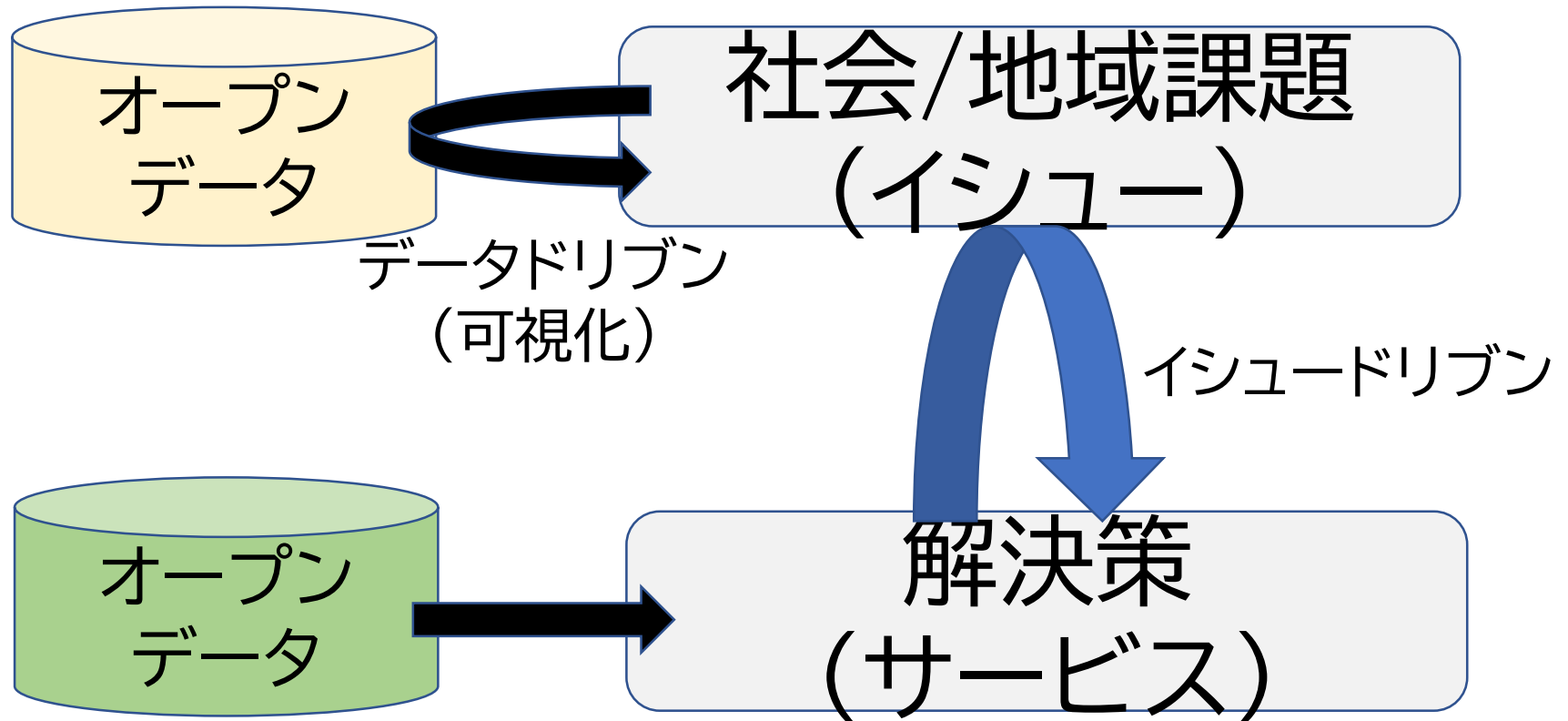


イシュードリブン



著者：
安宅和人

オープンデータ活用は イシュードリブンで



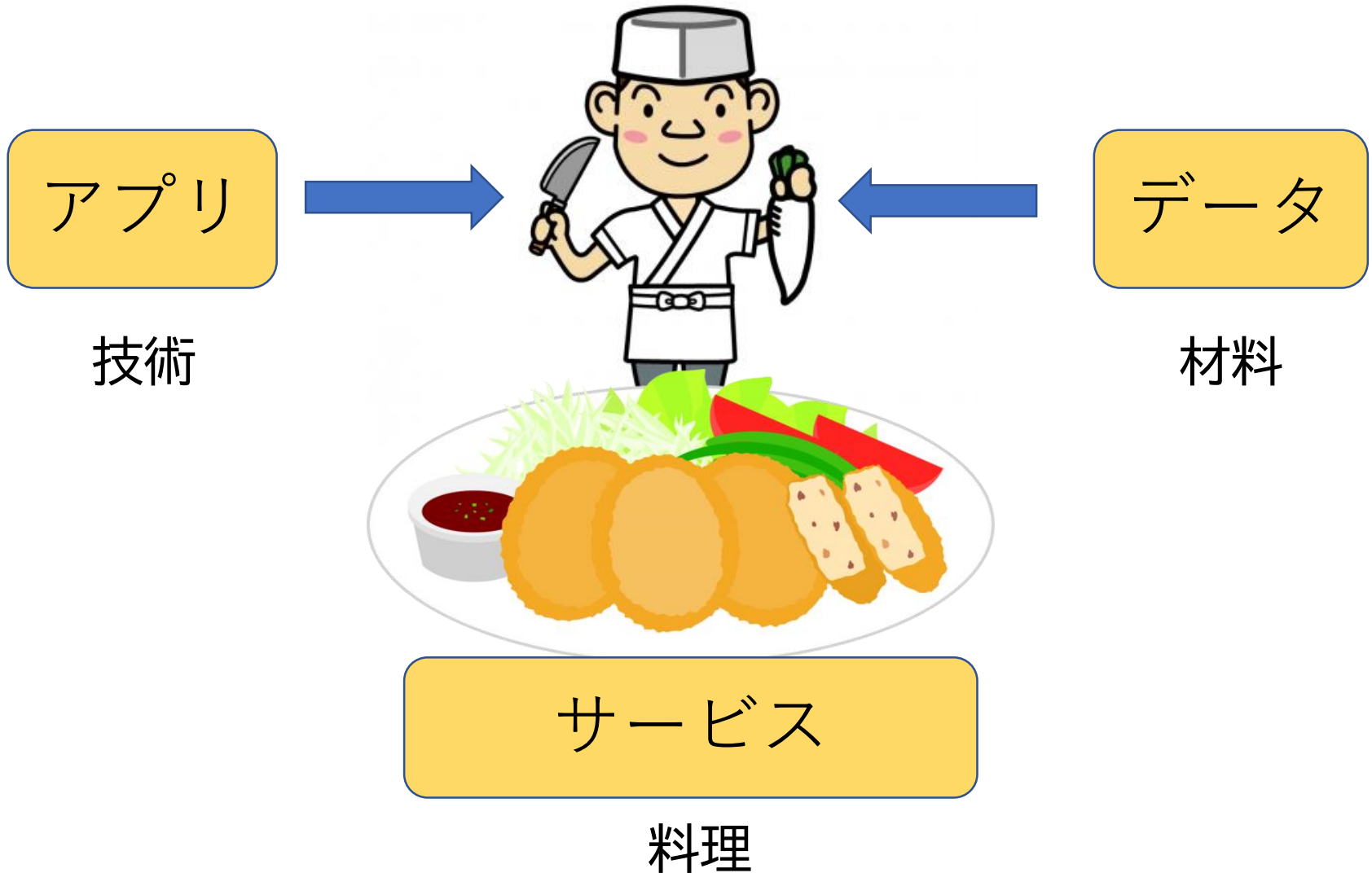
企業からみた活用課題

金のおい データ流通環境の整備

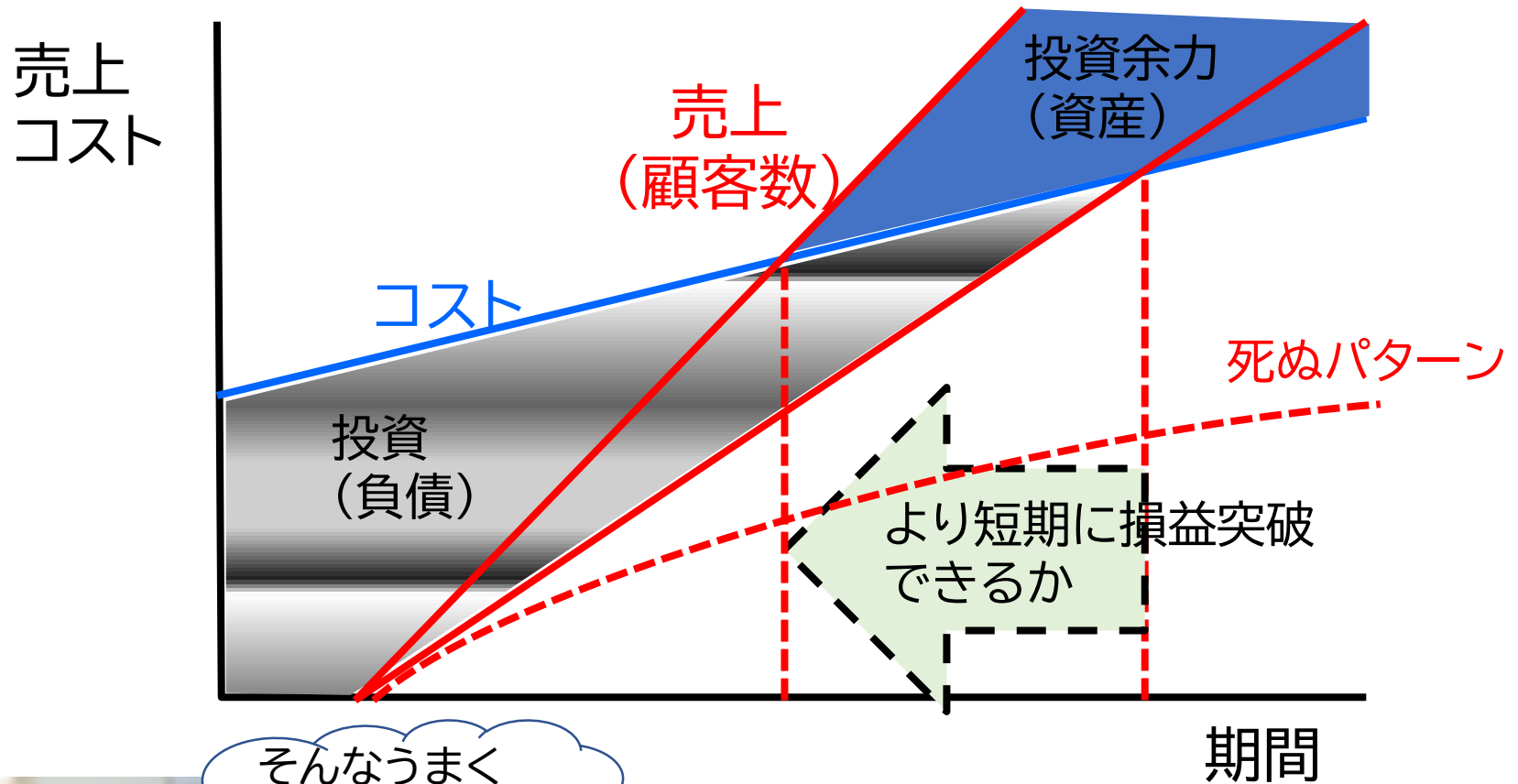


やっぱり金か。。。

Cook the DATA



オープンデータビジネスは典型的な 座布団モデル



そんなうまく
いったら
苦労せんわ!

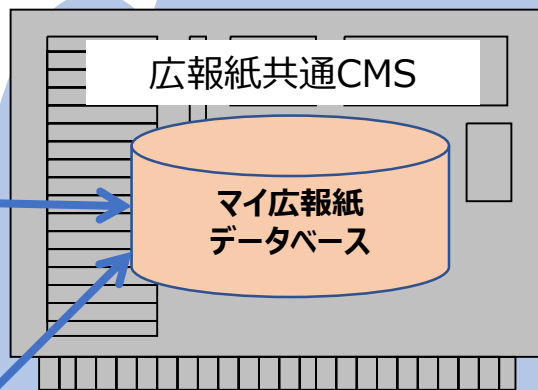


【参考】マイ広報紙のサービスモデル

<自治体>

① 広報紙データのオープンデータ化
又はPDF等で公開

※自治体側でも
直接編集できる



<マイ広報紙での活用>

WEB



スマホアプリ



SNS配信



記事アンケート



広報分析レポート



<当社>

② 共通データ化作業



| | |
|---|--------|
| A | イベント名 |
| B | イベント内容 |
| C | 日時 |
| : | : |

テレワークによるリモート作業

<他社サービスとの自動連携>

ノアドット



ぱど



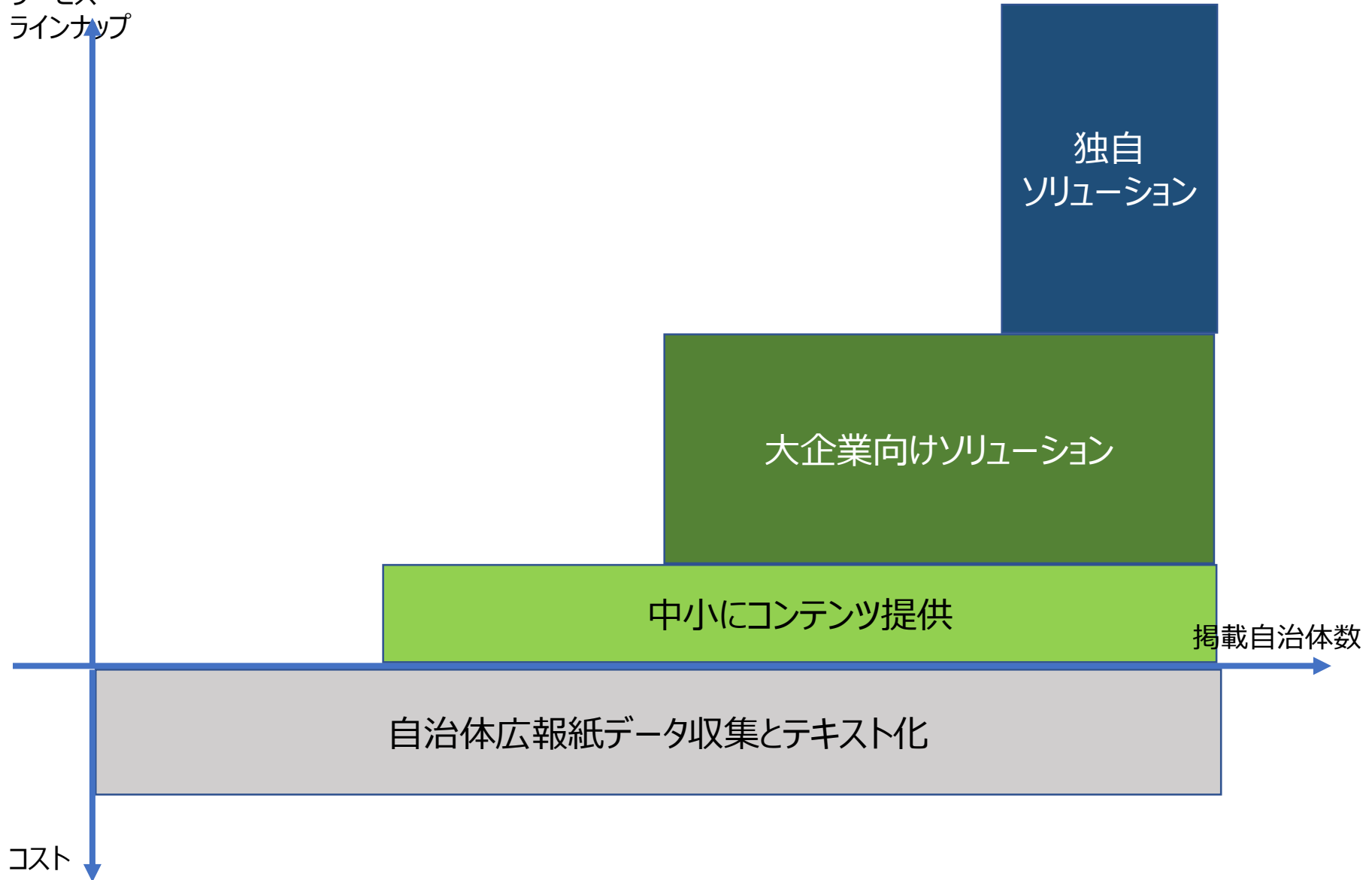
Yahoo!MAP NTT Docomo
mydaiz



「市民」「自治体」「活用企業」の
3 sided-marketモデルのプラットフォームサービス

【参考】マイ広報紙の収益構造

サービス
ラインナップ



データ流通環境の整備

- データ連携基盤技術
- 標準化（ルール）

面倒臭そう



データをつなぐ技術実験

内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(第2期)
ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術

分野間データ連携基盤技術 開発概要

- あらゆるデータが安全にAIで解析可能なレベルで利用するためのデータ連携基盤技術を構築。
- ① オープン性 : 誰もがデータを提供でき、かつ欲しいデータを探して入手できるオープンなデータ流通環境
- ② 官民連携 : 官だけでなく、民だけでもない、官民が連携して構築
- ③ 包括性 : あらゆる分野のデータ基盤を連携。国境を越えた連携も想定。

Society 5.0実現に向けたデータ連携



難しすぎて 広がる気がしない

ZZZ...



難しい技術を普及させるには

「わかりやすい」

「金のおい」

「勝手に広がる仕組み」

わかりやすさ



(出典)日本テレビ放送網株

日本のスパコン「富岳」が世界一 新型コロナ対策でも活躍

金のおいがわかる人

ベンチャー・起業家
投資家

やっぱ学者
じゃ無理か



「わかりやすさ」と「金のおい」



(出典)長崎新聞(株)

AIでアジ・サバの仕分け瞬時に 人手不足解消に期待

勝手に広がる仕組み

既存のインフラに乗せる
面白い

吉本興業に
相談か。。



行政DXの課題

組織・業務改革

調達力

標準化



業務改革

政府・首長の旗振り

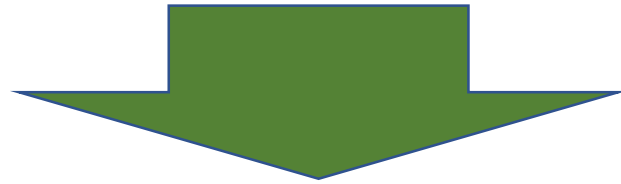
組織改革



**新しい風土や文化
取り込む**

調達力強化

ベンダーロックイン



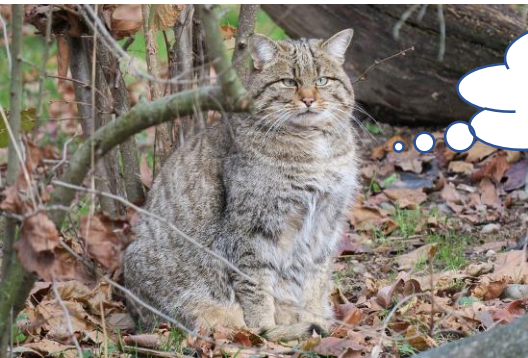
PM(CDO)カ

標準化



国の標準化が進まないのは

**参加者多すぎて
何も決まらない
会議と同じ**

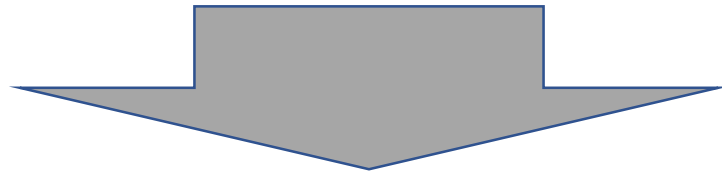


えらそうに...

標準化はトップダウンでなく

ボトムアップ

(デファクトスタンダード)



バンドワゴン効果

自治体への普及施策

一般的なマーケティング理論に
当てはめると

先進自治体がやってみる

表彰(ここで標準骨子作り)

元気な自治体が協力する

積極的連携(ここで推進士台作り)

一般自治体が真似する

安心感・メリット訴求

消極自治体が追い付こうとする

手間の軽減/仲間外れ施策

後から自治体が嫌々従う

国の制度等で強制

キャ
ズム

45
自治体

241
自治体

608自治体

608自治体

イノベーター
2.5%
冒険心にあふれ
新しい情報を
採用する人

アーリーアダプター
13.5%
流行に敏感で
自ら情報
収集する人

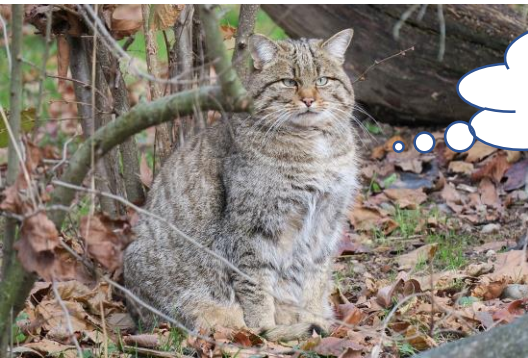
アーリーマジョリティ
34%
比較的慎重な人

レイトマジョリティ
34%
比較的懐疑的な人
皆が使っているから
取り入れる

ラガード
16%
もっとも
保守的な人
世の流れに
関心が薄い

キャズムを超えられないは

**やってくれるはずの
盲信から脱却できない**



えらそうに...

キャズムを超えるには

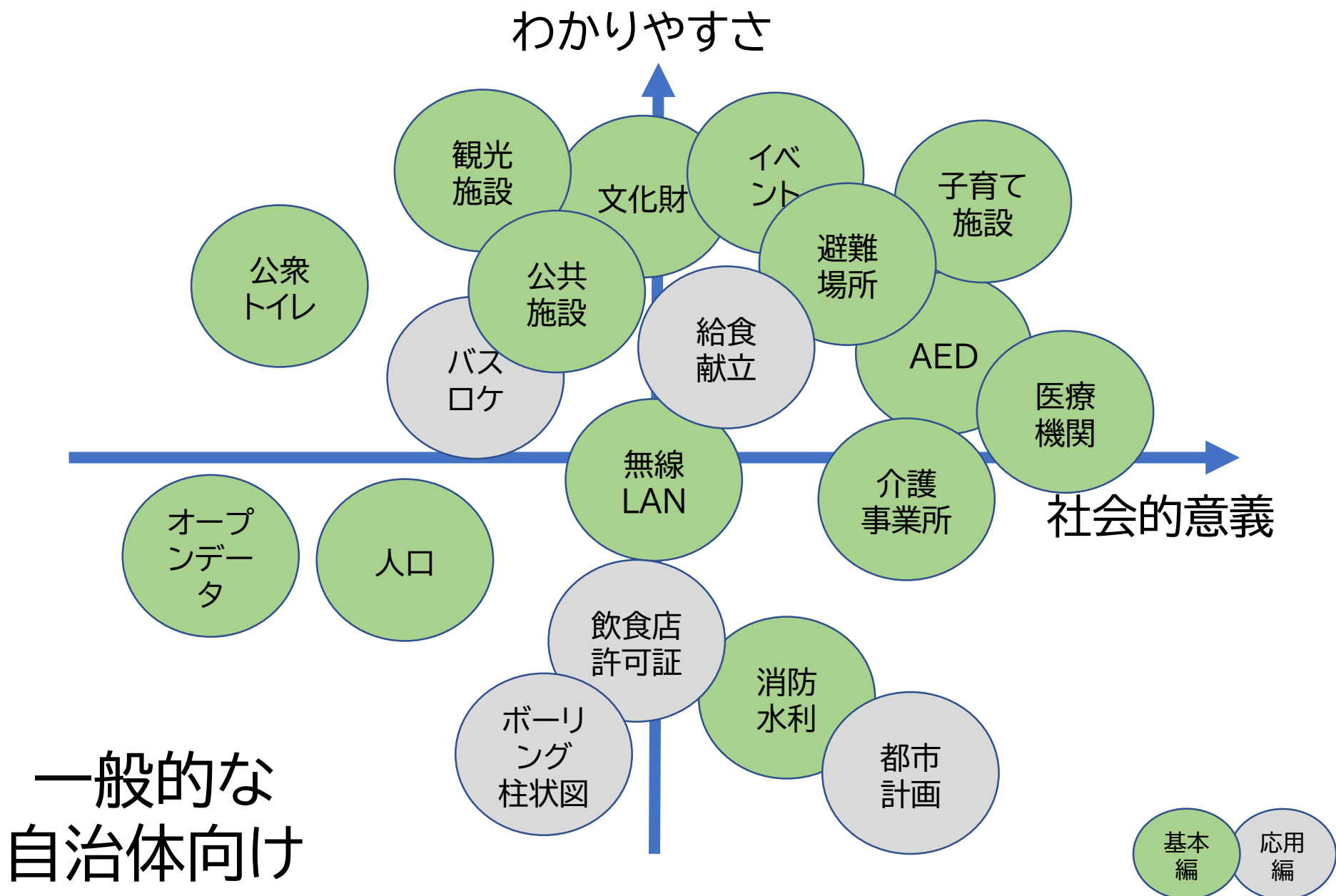
わかりやすい

(専門的でない/誰も否定できない)

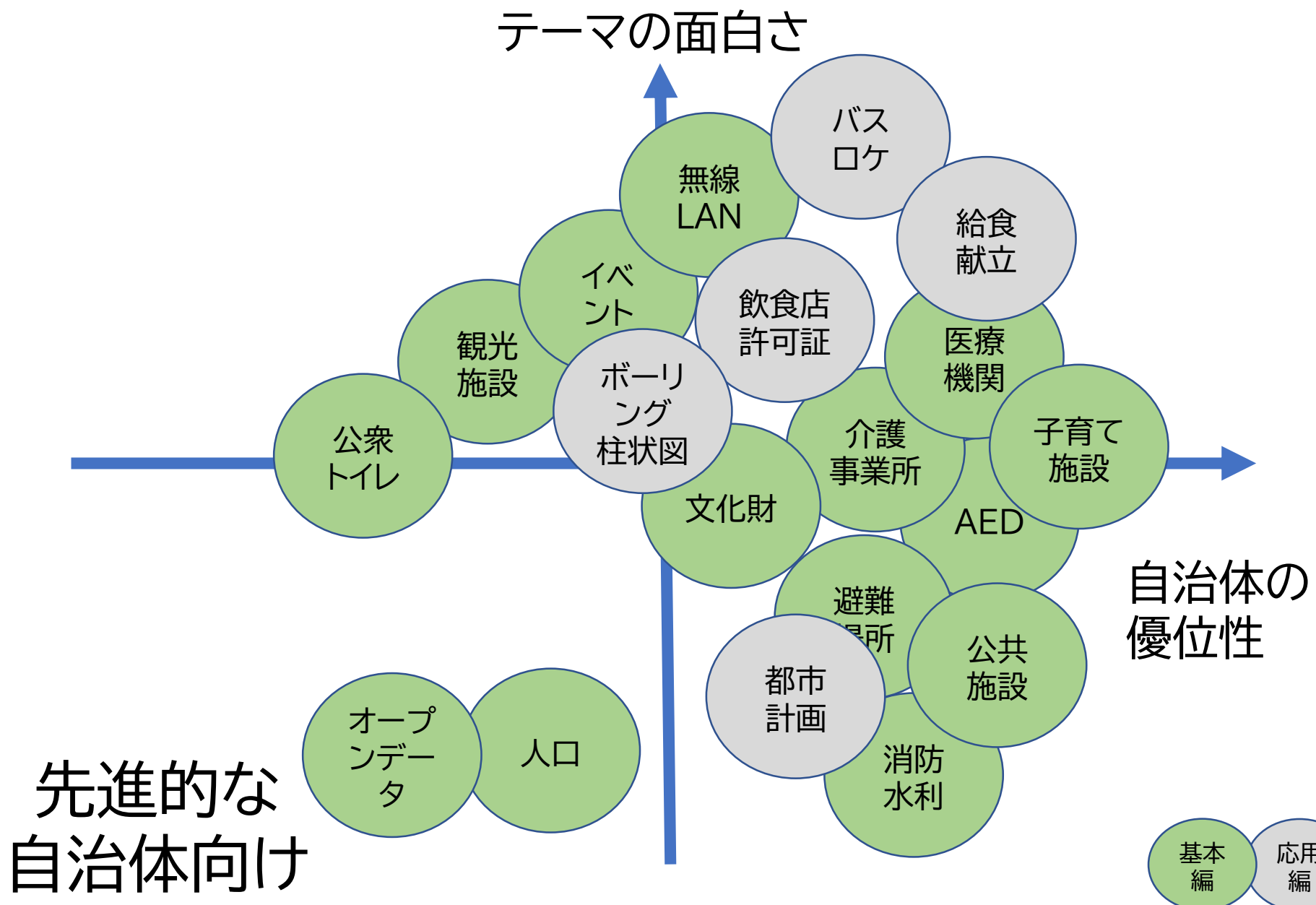
**ちよつと世の中の
ためになる**

(自治体職員にとって)

(例)推奨データセットの場合

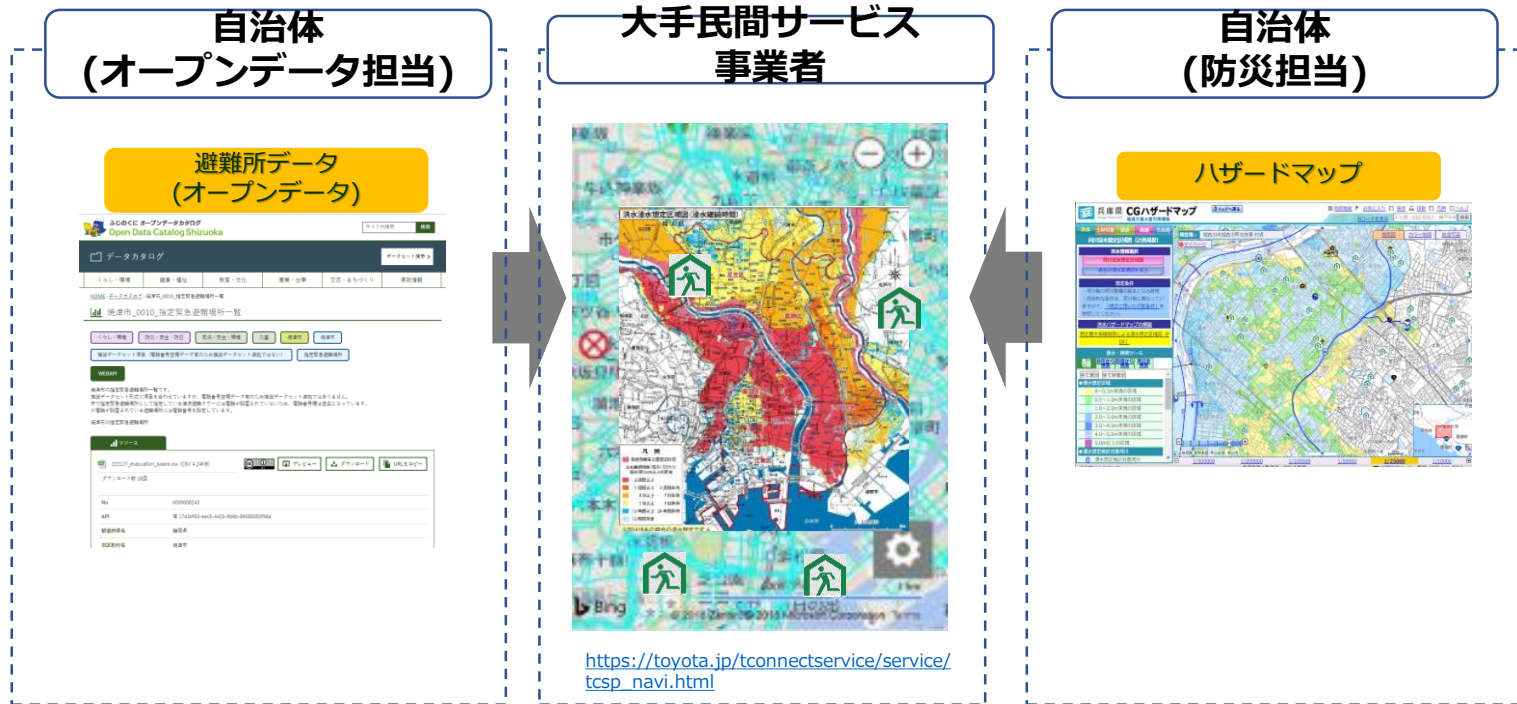


(例)推奨データセットの場合



データをつなぐ技術実験例(準備中)

カーナビに自治体オープンデータを表示してみる



わかりやすい

ちょっと役にたつ

金のにおいがする

勝手に広がる

負担が小さい

Let's Get Started

ありがとうございました